



# 通信

HP 学校だより  
R6. 7. 18  
NO. 17  
文責 伊藤美佳



## 野菜作りを通して

7月11日（木）に3年生と6年生が育てていたナスを収穫し、給食センターに届けました。12日（金）の給食には、そのナスを使った「マーボナス」が町内の小中学校9校でおいしく食べてもらったことと思います。

豊坂小学校では、1年はサツマイモ、2年は自分の決めた野菜、3、6年がナス、4年はツルレイシ、5年はイネ、ひまわり学級は種からオクラとモロヘイヤといった野菜作りを行っています。理科や社会科、生活科といった学習の一環として実施していることはもちろんですが、一人一鉢で自分の野菜を育てたり、仲間と協力して世話をしたりすることで、子どもたちが知識を得るだけでなく心も成長することを実感しています。

自分たちが収穫したナスで作られた「マーボナス」を食べた後の3年生の感想に、

- ・ みんなでがんばって育てたナスを食べることができてうれしかった…。
- ・ 自分たちが育てたナスが給食となってできてなんだかうれしくなりました…
- ・ ナスおじさんが土をたして、協力してくれました。みんなのおかげで…。
- ・ 毎日ががんばって水やりをしたから、とびっきりおいしかったです…

と書かれていました。自分が世話をしたり、人とかかわりながら育てたりしたことが、大きな喜びとなっていることが分かります。

これから長い夏休みに入ります。ご家庭での生活の中で、子どもたちが責任をもって続けられるお手伝い、仕事を子どもと一緒に決めていただき、見守っていただければ（時には、ともに喜んでいただければ）と思います。忘れてしまうこともあるかもしれませんが、続かないかもしれません。しかし、自分で決めたことを最後までやりきるという経験が、子どもたちを大きく成長させてくれると思います。子どもたちには、自己肯定感（ありのままの自分で大丈夫と思えること）が高くあってほしいと思います。しかし、大人はできないことに目がいってしまいがちです。怒られたり、責められたりして子どもたちの自己肯定感が低くなっているかもしれません。夏休みには、自分でできることを決め、やりきることによって少しでも「自分でできた」「決めたことを続けられた」そんな感覚を味わわせ、「自分ってがんばってるな」「いいところあるな」から「よし、これからがんばろう」という意欲につながればと思います。

夏休みが、子どもたちにとってすてきな時間となりますように。

※ナス収穫量は **3年生→15.5kg + 6年生→41.05kg = 56.55kg**

## 子どもたちで

少し前に、下校時に転んでけがした子を助けるために、6年生が自分で考えて指示を出して助けを呼んだという話をお伝えしました。先週にも、同じように下校途中で転んでけがをした1年生を連れて帰るために、6年生がおんぶしたり、そのために持てなくなった荷物を班の子たちで手分けして持ったりして帰宅したということがありました。まさかと思ってみえた保護者の方が、「本当にそんなふうに見えるんですね」と感心してみえました。多くの方々が見守り、本当に必要な時に支援してくださっているからこそ、子どもたちは成長しています。ありがとうございます。